

アガへ No.65

総主事 堤 弘雄

ライフスタイルは変えられるか？

電気とモノの大量生産・大量消費を追い求めてきた結果の1つの現象が福島原発事故であるならば、今こそ、私たちのライフスタイルを改める好機だと思えます。これまでのような無駄な消費を強いるような経済成長は、ごみを増やし、環境を汚染し、エネルギー資源を枯渇させていくばかりです。モノにこだわらないシンプルな生活が私たちに求められているように思います。

先日、カーナビに付いているテレビが地デジ対応ではなかったのでチューナーを取り付けました。取り付け費用4万円也。悩んだ末に取り付けましたが、妻は必要ないと言い、私は必要だと主張した末の購入でした。以前、ミャンマーのモガウンYMCAを訪問した時に乗ったタクシーは、冷房なし、スピードメーターは壊れて動かず、ラジオは取り外されていました。この格差を知りながらも必要以上の物質的な豊かさを追い求める自分自身に後ろめたさを感じると同時に、モノにこだわらない生活の難しさを感じました。

チベット仏教を代表する指導者のダライ・ラマは「ハートフルメッセージ」(春秋社)の中でこのように述べています。「所有物や富について、まちがった考えを持っていると、家や財産に極端に執着したり、満足感を得られなくなります。一度そうなると、最後には、いつも現状に満足できず、常に何かを欲しがようになります。ある意味で、これこそ本当の貧乏です。というのも、貧乏の苦しみとは、『何かを欲しが苦しみ』や『何かが足りないと感じる苦しみ』にほかならないのです。」人間の欲望は、充足すればするほど、内面を貧しくしていくことを私たちに気付かせてくれる内容です。反省させられることしきりです。



今回指導を担当したのは、みなみYMCAのスタッフで各小学校や幼稚園、保育園でも同様の指導を行う石岡ひろみさん。体育館に集まった1年生約80名に、紙皿を使ったクイズや歌、簡単な体操を

使ったクイズや歌、簡単な体操を... 次々に教えてくれます。子どもたちは大きな声で応え、元気がいっぱい体を動かしました。その後、保護者が合流して簡単なストレッチやゲームの時間に、親子でV字バランスや開脚にもチャレンジしました。石岡さんは「安全に楽しく」がモットー。親子で楽しめ、保護者の方には子どもの成長を感じてもらえるような内容を考えました。一方、保護者からは「低学年に合わせた内容で、子どもの笑顔を見ることができてよかった。自宅でも楽しめるゲームを教えてくださいましたので、また子どもと遊びます」などの感想が寄せられました。

親子で楽しく
小学校でレクリエーション指導

YMCAでは、地域や学校などの要望に応じて、レクリエーション指導者を派遣しています。7月10日(日)、熊本市立隈庄小学校の1年生と保護者に向けて、YMCAのレクリエーション指導が行われました。授業参観・懇談会の後、学年行事として親子の親睦を深められるレクリエーションを行いました。というリクエストに応えたものです。

次々に教えてくれます。子どもたちは大きな声で応え、元気がいっぱい体を動かしました。その後、保護者が合流して簡単なストレッチやゲームの時間に、親子でV字バランスや開脚にもチャレンジしました。石岡さんは「安全に楽しく」がモットー。親子で楽しめ、保護者の方には子どもの成長を感じてもらえるような内容を考えました。一方、保護者からは「低学年に合わせた内容で、子どもの笑顔を見ることができてよかった。自宅でも楽しめるゲームを教えてくださいましたので、また子どもと遊びます」などの感想が寄せられました。

一人ひとりの生命を大切に
水の安全キャンペーン

暑い時期になると、海や川、プールへ行く機会が増えます。例年この時期には、水難事故が発生し、尊い命が失われています。YMCAでは安全教育の一環として、水の安全キャンペーンを全国で実施し、水の事故から大切な生命を守るために活動を続けています。

暑い時期になると、海や川、プールへ行く機会が増えます。例年この時期には、水難事故が発生し、尊い命が失われています。YMCAでは安全教育の一環として、水の安全キャンペーンを全国で実施し、水の事故から大切な生命を守るために活動を続けています。

熊本市YMCAでは、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、合志市教育委員会、阿蘇市教育委員会等の後援を受け、地域の小学1年生を対象に「ウォーターセーフティハンドブック」を配布しています。また、保育園や小学校へ出向き水の安全講習会を開催し、事故を未然に防ぐために必要な知識が一事故に遭遇した場合の対処法などについて講習しています。



熊本市立御幸小学校にて

韓国・大邱YMCAから
研修のため職員が熊本を訪問

熊本市YMCAと姉妹関係にある韓国・大邱YMCAから今年も短期研修で職員を受け入れました。今年度はキム・ミン・ヨンさん(保育園保育士)、イ・ミン・ギョンさん(幼稚園教諭)の2名が来熊。熊本YMCAの各施設やプログラムを見学して、5日間を過ごしました。水前寺幼稚園やみなみYMCAぶどうの木幼稚園のほか、永草保育園では七夕行事に参加し、子どもたちとの交流を楽しみました。



広島で核と平和を考える研修

広島以西のYMCAの職員が集い、核と平和と震災・原発事故を通してヒロシマ・ナガサキに触れ、YMCAのミッションと平和について考えることをテーマに研修が開催されました。元YMCA国際平和研究所所長の永井秀明さんは、「日本は世界で唯一の原爆被害国でありながら、原子力に対する危機感や十分ではなかった。平和構築には、核エネルギーからの脱却が必要」と述べ、参加者は改めて核と原子力の問題について、考える機会になりました。



広島以西のYMCAの職員が集い、核と平和と震災・原発事故を通してヒロシマ・ナガサキに触れ、YMCAのミッションと平和について考えることをテーマに研修が開催されました。元YMCA国際平和研究所所長の永井秀明さんは、「日本は世界で唯一の原爆被害国でありながら、原子力に対する危機感や十分ではなかった。平和構築には、核エネルギーからの脱却が必要」と述べ、参加者は改めて核と原子力の問題について、考える機会になりました。